



命の尊厳 人間としての幸せを今こそ

＝ 東日本大震災を乗り越えて ＝

持ちよろう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を

開催要綱

- **日時** 2011年11月12日(土)～13日(日) オプション企画 14日(月)
- **会場** 山形県天童市 天童温泉 天童ホテル
- **参加費** 2日間8,000円 1日間5,000円 (オプション企画込3日間 10,000円)
- **主催** 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)
- **後援** 山形県 天童市 山形県社会福祉協議会 宮城県社会福祉協議会
福島県社会福祉協議会 天童市社会福祉協議会

● 参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、老人福祉の新しい施設連絡会組織として、2002年6月に発足いたしました。

発足にあたって、

- ① 介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
 - ② 高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
 - ③ 老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める
- これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

そして 第11回職員研究交流集会を、仙台で開催する予定で準備を進めておりました。

3月11日、未曾有の大地震と大津波が東日本を襲いました。亡くなられた方や行方不明の方は2万4,000人、避難生活をされている方々は11万人を超えています。加えて原発事故も深刻です。早急に、被害に遭われた方々への支援が必要でした。21・老福連の加盟施設では、すぐさま支援物資を被災地に届ける活動に取り組み、宮城・福島・山形の被災施設に、新潟・金沢を中継点にし支援物資を送り、被災者を励ました。又福祉避難所への人的支援も行いました。

国民が震災に目と心を奪われている中、国会では社会保障・介護保険法改定の議論が始まっています。震災は、最も困っている人の生命と生活を保障するのが、国や自治体の役割であることをあらためて教えてくれました。財源論を先行させるのではなく、住民が立ち行く復興のあり方、福祉の行方をこそ追及すべきです。

第11回職員研究交流集会実行委員会は、震災の諸事情から、開催地を仙台から山形に移し、「**命の尊厳、人間としての幸せを今こそ 東日本震災を乗り越えて** ～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～」をテーマに開催します。全国各地の豊かな援助実践を山形に持ちより、大いに学び交流を深めましょう。職員、関係者のみなさまの積極的な参加をお待ちしています。

● 日時

2011年 11月12日(土) 14:30～18:00(交流会 19:00～)
13日(日) 9:00～16:15
オプション企画 13日(日) 17:30～14日(月) 12:00

● 会場

全体会・分科会・交流会 山形県天童市 天童温泉 天童ホテル

● 参加費

2日間8,000円 1日間5,000円 (オプション企画込3日間 10,000円)
※ 11/12宿泊:天童ホテル 一泊二食・懇親会参加費込み 17,000円
※ 11/13宿泊:天童ホテル 一泊二食 込み 14,500円
和室・相部屋のため部屋割りについては実行委員会に一任願います

● 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)
FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

- お問い合わせ先 ● <現地実行委員会事務局>
特別養護老人ホームとかみ共生苑(担当:高梨)
TEL 023-646-5050 FAX 023-646-5051 E-mail tokami@themis.ocn.ne.jp

● 申込方法

別紙、山新観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて山新観光にお申込ください。

★ 参加申込締切 9月5日(月) ★

申込受付後、10月下旬より山新観光より、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

● テーマ

命の尊厳 人間としての幸せを今こそ =東日本大震災を乗り越えて=
持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を

● 目的

震災で奪われたかけがえのない命、そしてあたたかな生活…。
大震災があったからこそ、命や生活の重みを受け止め、大事にしていきたい。

私たちは、高齢になっても、人間としての尊厳ある生き方を貫くための制度を望んでいます。
来年は介護保険法が改定されます。思いとこだわりをもってとりにくんでいる福祉の援助実践
を交流し、薄れがちな公的福祉のあり方を問いなおしたいと考えます。

● プログラム

1日目 11月12日(土)

< 全体会 >

14:00～	受付開始
14:30～14:35	開会の挨拶
14:35～15:20	21・老福連からの基調報告
15:20～17:00	●記念講演「命の尊厳 — 平穏死を考える」 講師 石飛 幸三 氏 (特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医)
17:15～18:15	●特別報告 「災害時に社会福祉法人が果たす役割 ～東日本大震災の報告～」 講師 小野 ともみ 氏 (高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長)
18:15～18:20	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

19:00～21:00	●今年も交流会でキズナを深めましょう (詳細は12ページよりご確認ください) いまや定番となった「全国津々浦々から地酒を持ち寄る手づくりの交流会」を今年も元気に開催します。なお、今回みなさんから送っていただく地酒は“ちよつとずつ多種類”を合言葉?に、4合サイズの720ml瓶を2～3本で募集したいと思います♪ もちろん当日の出し物?やお家芸?も募集しています!
-------------	---

2日目 11月13日(日)

< 分科会・全体会 >

8:30～	受付開始
9:00～16:00	20分科会(予定)で繰り広げられるアツい議論!(詳細は6ページよりご確認ください)
16:00～16:15	閉会挨拶 ・ 次回開催地挨拶

2日目 ② 11月13日(日)

< オプション企画 >

17:30～19:00	●オプションA&B 合同企画 夕食懇親企画! ～ 夕食懇親プログラム ～ 「 秘密のシセツSHOW 」 <small>げんば</small>
-------------	--

3日目 11月14日(月)

< オプション企画 >

◆ 参加対象 ⇒	A コース 参加者 ※ 現場職員向け企画	B コース 参加者 (先着25名) ※ 管理者向け企画
9:30～11:40	●オプションA 企画 「 激論! 今さらだけどコレって何! ? 」	●オプションB 企画 被災地へ
12:00～	天童ホテルにて解散	仙台駅にて解散

● 全体会

11月12日(土)

● 基調報告

14:35~15:20

「地域包括ケアシステムと介護保険法改定」 講師：廣末 利弥
(21・老福連 代表幹事 社会福祉法人七野会 理事長)

現在、「地域包括ケアシステムの構築」を柱にして、来年度の介護保険制度改定に向けた議論が行われています。高齢者福祉のあるべき姿と照らし合わせてこの議論を整理し、21・老福連の役割と将来展望について提起します。

● 記念講演

15:20~17:00

「命の尊厳 — 平穏死を考える」 講師：石飛 幸三 氏
(東京都世田谷区立 特別養護老人ホーム「芦花ホーム」 常勤医師)

講師プロフィール：昭和10年11月2日生まれ。昭和36年 慶応義塾大学医学部卒業
昭和45年 ドイツ、フェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で
血管外科医として約2年間勤務
昭和47年より東京都済世会中央病院勤務。平成5年 同病院副院長
平成17年12月より芦花ホームに勤務
＜著書＞「平穏死」のすすめ — 口から食べられなくなったらどうしますか（講談社）

医療技術の進歩に伴い、老衰に伴う病態も延命治療が行われています。国民の80%が胃瘻を望まないとしていますが、老衰の80%に胃瘻が造られているのが現実です。高齢者の楽しみは美味しい物を食べることです。老衰の最期は水や栄養を吸収することができなくなります。老衰は食べられなくなるから死ぬのではなく、枯れて行くのが大往生＝「平穏死」なのです。命の尊厳—平穏死とは何か「老衰末期における医療過信を問う」を柱に講演致します。

● 特別報告

17:15~18:15

「災害時に社会福祉法人が果たす役割 ～ 東日本大震災の報告 ～」
講師 小野 ともみ 氏 (高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長)

高齢者福祉施設「宮城野の里」は、仙台市東部での津波被害地域に最も近い場所に位置する施設です。震災翌日より地域包括支援センターを先頭に被災地に入り、地域の要望を聞き取りながら、被災者のニーズを把握する作業をはじめました。救援活動に奔走する中、家屋流出などの被災を受けた高齢者や認知症を抱えた高齢者が、居場所すらないまま一般の避難所で身を寄せているという現実問題に直面。直ちに受入先を確保する必要性を痛感し、施設に「福祉避難所」を開設することにしました。

わが国の地震は活動期に入り、いつどこで大きな地震が起きても不思議ではないといわれています。あの日施設が置かれた状況をご報告いただくとともに、私たちが災害時にどういった役割を果たすことができるのか、被災地の発信からともに学びあう時間にしたいと思います。

● オプション企画

11月13・14日(日・月)

今回は集会本編の企画は2日間で終わることになりますが、3日目(2日目夕刻以降～)は、【オプション企画A】(現場職員向け企画)と【オプション企画B】(管理者向け企画)の2つをご用意しています。

最終ページの申込書に記入する際は、【A】【B】どちらに参加を希望するか必ずご明記ください。なお、【オプション企画B】(管理者向け企画)につきましては、先着申込で定員25名とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

● オプション合同企画

13日 17:30~19:00

オプションA & Bの合同企画では、全員が参加する“夕食懇親プログラム”を実施します！
あなたの施設の自慢・ローカルルールを声高らかに、全国の皆さんの前で発表してみませんか？
「私の働いている施設は〇〇がすごい!」、「私の働いている職場には〇〇がある」、「うちの施設では〇〇手当てがある」などの施設自慢。そして、「夜勤者は必ず〇〇をする」「一年目の職員は、〇〇させられる」「〇〇は禁止!」などのローカルルール。もちろん、「こんな名物職員がいる」など、どんなネタ・情報でも結構です。
この日に限っては存分に施設を自慢し合い、そして、お互いに共感・感嘆・驚愕して、あらためて自分の施設のセールス・ポイントを再発見する時間をみんなでたのしみましょう♥

● オプション企画A

14日 9:00~12:00

★ 現場職員向け企画 ⇒ 「激論!今さらだけどコレって何!？」

サービスという言葉で表現される今の福祉業界。本当に福祉の仕事が「サービス業」で良いのでしょうか…?いま一度“福祉の仕事とは何か”をみんなで考えてみませんか。
正直、現場で働いている職員にとっては、“福祉の仕事”とを感じる機会は少ないのかもしれませんが。それは制度がそうしているのか。それとも自分達の仕事に対する意識がそうさせているのか…。いずれにしても、少なからず想いを持ってみなさんはこの仕事に就いたのではないのでしょうか?今はどうですか?「志高く仕事をしています!」と自信を持って言えるのでしょうか?
日々の実践の中で「良く聞けど…よく言われるけど…。今さら聞けないし、なんとなくは分かっているけど、実際どういう意味なのかははっきりと分からない…」と感じている事柄はないですか?「豊かな暮らし」?「尊重」?「受容」?など、答えのないこの業界の“曖昧な表現”について、グループに分かれていろいろな意見を出し合ってもらおうと思います。そして、出された意見や想いをもとに、「私はこう思います!」と胸を張ってプレゼンテーションしてもらい、お互いに整理をする作業に挑みます。最終的には、会場で“一つの答え”を強引に導き出し、自分たちなりの「定義付け」をおこなってしまおうという企画です。意見が少数派であっても、他の皆さんの納得があった場合には、それが「定義」となります。
実践の中で曖昧にされていることや疑問に感じることを、この企画を通して、スッキリ!「定義付け」してみませんか?

● オプション企画B

14日 9:00~12:00

★ 管理者向け企画 ⇒ 被災地へ

仙台市宮城野区まで実際に足を運び、当時この地域がどのような状況に置かれていたか、また、未だなお解消されていない現地での課題などをご説明いただきます。

※なお、本企画は先着順・定員25名とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

NO	分科会名	テーマ	分散会	分散会名	座長	助言者
A	施設でその人らしい暮らしを支える	ホームの中での生活の工夫や、認知症個別ケアへの取り組み実践を持ち寄り学び合おう。入居から看取りにわたるその人の人生を支えた実践や、最期まで食べる大切さを追求した実践事例をもちより学び合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者が安心して生活でききる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしながらケアの取り組み ・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べる事を大切にしながら取り組み実践 	A-1	新型・ユニット型を中心にしたシステムと密接に関連した実践事例)	宮城 十符・風の音 副施設長 丸田 礼子	島根 ひまわり園 施設長 髙隆 美
			A-2	豊かな日常を支える	東京 白十字ホーム 生活相談員 柿沼 由希美	群馬 誠の園 施設長 山口 千春
			A-3	認知症の方のケア	群馬 エンジェルホーム 園長 若林 毅	愛知 前 蒲郡眺海園 施設長 早川 昌宏
			A-4	重度化した高齢者への対応(ターミナルの取り組み・健康管理を考える)	福島 はなしのぶ ケアワーカー長 山岸 正和	北海道 かりぶ・あつづつ 施設ケア科副科長 椎名 美樹
			A-5	食を考える	宮城 十符・風の音 施設長 小岩 眞理子	福島 わたり病院 栄養科長 関場 治美
B	施設・在宅の食を支える	ソフト食、クックチル・フリーズ食品等、利用者の重度化に伴い食の在り方、形態提供の仕方が多様になっています。各施設・事業所における食事の創意工夫の実践を持ち寄り学び合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・チームケア、多職種協働による食生活の取り組み ・調理現場における個別対応実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・栄養ケアマネジメントの取り組み実践 ・在宅における調理の工夫、サービス機関との連携・地域資源の活用 	B	食を支える(食に携わる専門職を中心として)	山形 とかみ共生苑 主任栄養士 岩原 道代	千葉 やわら木苑 管理栄養士 高原 由香
C	施設・在宅の医療や健康管理を考える	医療・健康管理をはじめとする医療専門職としての実践を持ち寄り学び合おう <ul style="list-style-type: none"> ・施設・在宅における医療の在り方と医療機関連携 ・医療ニーズへの対応と課題 ・皮膚ケアの充実 褥瘡予防 ・感染症予防対策 ・看取りケアの専門職としての実践 	C	医療・健康管理を考える(医療職を中心として)	北海道 北海道 訪問看護ステーションかりぶ 所長 見上 眞由美	北海道 フルーツ・シャトーよいち 医務課長 藤林 洋子
D	在宅生活を支える施設の役割を考える	在宅生活を支えるデイサービスやショートステイのあり方や役割、課題について議論し検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイならではの課題、難しさ、工夫した取り組み ・ショートステイの受け入れ・医療依存度の高い利用者の受け入れについて ・認知症高齢者のショートステイ ・緊急ショート、虐待保護、多問題家族の対応支援 ・ショート中の洗濯、荷物点検、服薬の管理について ・初回アセスメントとリスクの把握 ・在宅での医療処置の継続が必要な利用者への対応 ・ホームの社会的な役割、デイサービスの連携した取り組みや課題 ・デイサービスの役割、認知症高齢者、虐待保護、他問題家族の対応支援 	D-1	ショートステイのとりくみを中心に	大阪 いのこの里 副施設長 吉川 幸志	東京 くいち苑 施設長 林 瑞哉
			D-2	通所のとくみを中心に	東京 白十字八国苑 施設長 吉田 裕	東京 上井草ふれあいの家 所長 藤山 邦子

NO	分科名	テーマ	分教会	分教会名	座長	助言者
E	有料ホーム・ケアハウス・高専質な多様な住まいの機能と役割	福祉施策の観点から厚生労働省が、また国土交通省が住宅施策の観点からと多様な住まいがつけられてきています。ケア付き住宅、有料老人ホーム（住宅型、介護付き）、高専質、高専質などこここれらが「老後の住まい」の保障になりうるのか、どうすれば安心の住まい「終の棲家」に多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・認知症ケア ・重度化の対応 ・医療ニーズへの対応	E	ケアハウス・有料老人ホームなど	愛知 すこやかか 施設長 阿藤 広志	福岡 ケアハウスらいふ戸畑 施設長 内田 義則
F	養護老人ホームの役割と課題	新制度移行後のいろいろな影響や課題、利用者の重度化の中での対応等について議論しましょう。 ・自治体への働きかけ、低所得者・社会適応困難高齢者の実態 ・養護老人ホームのあり方、事例交流 ・「外部利用型」の導入など制度転換への実態と対応 ・シヨートステイの取り組み	F	養護老人ホーム	長野 ゆいの里 事務長 西田 亮美	大阪 城東老人ホーム 事務長 横山 道夫
G	地域で暮らし続ける	(訪問介護) 「住み慣れた家で、その人らしく最後まで、その人らしい生活は『高嶺の花』…？ 度重なる制度改定に、利用者・家族はもとより、事業所も大きく影響を受けています。来年度にせまる医療・介護報酬の同時改定。生活援助の保険はさすがに狙われれば情勢から目は離せません。在宅での看取り、同居の認知症の人を支える緊密なネットワークの構築も急務です。今こそ、訪問介護の重要性を再認識し、問題を共有していきましょう。 ・登録、パート、常勤だって、みんな同じプロ…雇用形態の悩み ・サービス提供責任者の主張…「やりがいはあるけれど。何とかしてよ！ この現実」 ・生活援助の真深さ…「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ヘルパーの抱う「医療行為」…研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事 ・この家で最後まで…在宅での看取りの実践 (グループホーム) 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方や重度者や看取りの対応等ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り討議していきましょう。 ・グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」などの実践 ・グループホームと地域の関わり、連携 (小規模多機能施設) 住み慣れた地域で暮らし続けるため「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして期待されましたが、介護報酬上の問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともにも多くの問題が浮かび上がってきています。取り組みや課題について多くの人に知ってもらい検討していきましよう。 (居宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門) 高齢者は地域の中で暮らしていく中でたくさんの問題を抱えています。住み慣れた地で、安心して生活していけるような地域づくり、コミュニティケアについて、また介護保険がありながらも在宅生活が困難な状況にある方への関わりなど、実践例や課題を持ち寄り議論していきましょう。 ・地域包括ケアの新たな役割の課題 ・地域づくりの取り組みについて ・権利擁護について（虐待防止・早期発見・権利擁護の活動報告） ・介護予防事業への取り組みについて（周知活動・対応チームについて・養護者の支援・行政との連携・成年後見制度） ・認知症ケアへの取り組みについて ・事業所の運営とケアマネジャーの「質の向上」への取り組みについて ・多問題家族や一人暮らし、老老介護、認知介護など困難事例への取り組み ・在宅における看取りへの取り組み	G-1	ホームヘルプサービスを中心に	福島 ヘルパーステーションおおつき	茨城 ヘルパーステーションけやき所長 早瀬 努
G	地域で暮らし続ける		G-2	グループホームケア	大阪 グループホームたんぽぽ 総主任 佐々木 政布	東京 グループホームみたて ホーム長 寺田 慎
G	地域で暮らし続ける		G-3	小規模多機能施設	東京 小規模多機能サービス所長 長谷川 浩司	長崎 戸町ふくし村 施設長 吉野 紀子
G	地域で暮らし続ける		G-4	地域づくり、コミュニティケア・在宅介護で困難（重度化等）な事例の対応	東京 白十字八国苑 生活相談員 酒井 瑞恵	福島 おおつき介護保険センター 所長 菊谷 朗

NO	分科会名	テーマ	分科会	分散会名	座長	助言者
H	安心・安全な生活を送る	安心できる生活、安全が確保される生活とは。日常生活のなかにもさまざまなリスクは存在します。リスクへの対応をどのようにとらえるかで、生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、職員への教育や学習活動について、人員配置や環境整備などの取り組みについて持ち寄り議論しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束防止の取り組みと課題 ・虐待防止の取り組み ・オンブズマンや第三者機関活動の実例 ・個人情報管理 ・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践 ・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼づくり ・ヒヤリ・ハットを活かす ・発生した事故から学んだこと ・転倒防止の工夫 ・事故対策のマニュアルとその活かし方 	H	安心・安全な生活	京都 原谷こぶしの里 部長 介山 篤	東京 社会福祉法人すこやか福祉会 理事長 中山 美千代
I	誇りと自信を持ち働きがい、やりがいのある職場づくりを考える	自分自身が充実していないければ、他の誰かを援助することは難しくなることがあります。高齢者を介護する場合でも、職員が元気に取り組み、取組むことがその職場を盛り上げることになるでしょう。そのような職場づくりをどのように進めるか、取組むの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。仕事への誇り、取り組んでいる事への自信、働きがいのある、やりがいを持つ職場づくりについて話し合い、立てるようにしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・新人職員の主張 ・中堅職員の悩み、役割と課題 ・自分の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題に取り組んだ事例 ・組織の活性化につながる取り組み ・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて ・管理職や上司に言いたいこと、望むこと ・研修制度や体制について、人材育成の工夫について、育成の悩みなど ・チームワークや協力・連携への課題など 	I	職場づくり	東京 葛飾やすらぎの郷 生活援助課課長 福田 久美子	茨城 ケアハウスミと 施設長 神生 幸子
J	家族介護者を支える	介護保険は「介護の社会化」をうたっていますが、依然として家族介護に頼る実情があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護者の4人に1人はうつ傾向がみられる、心身疲労を抱えているなどの報告もあります。利用者や介護者同士の支援やネットワークの構築などにむけた取り組みと課題を持ち寄り、考えていきたいと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族会の現状と課題 ・家族とのケアパートナーシップ ・家族等愛護者への支援と課題 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題 	J	家族介護者を支える	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修
K	情報共有を考える	職場内での情報共有が不十分な場合、事故やトラブルが発生したり、利用者への介護方法が統一されないなどの影響が出やすくなります。また、家族の思いや要望が伝わらずに意にそぐわない援助などを提供してしまうと、家族からの不信任を招くことにもなります。情報の共有方法、情報からの気づきとそれの伝達や検討について、工夫や課題を持ち寄り、学びあいましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員間での情報共有の取り組みと課題 ・事業所と家族との情報共有や連携について ・情報の活かし方について ・事業所間(事業所・自治体・包括等)の情報共有について 	K	情報共有を考える	北海道 フルーツ・シャトーよいち 次長 松井 忍	群馬 新生活会
L	福祉施設における事務の役割を考える	事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務の役割についての議論を深めましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設における事務部門の役割 ・事務・経理・総務業務の効率化、経営データの活用・提言 ・事務部門からみた介護保険制度の問題 ・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 ・全職員参加の経営、処遇改善へ向けたいとどりとくみなど 	L	事務の役割を考える	千葉 やわら木苑 施設長 伊藤 裕之	宮城 社会福祉法人宮城厚生福祉会 事務局長 海和 隆樹

※ 演題数・参加希望者数との関係で分科会の増減が生じる可能性があります。また、座長・助言者も変更になる場合がございますのでこの点のみあらかじめご了承ください。
※ 会場の定員に達し次第、「第2希望」の分科会に参加いただくとご座席が確保されます。

● 分科会演題募集!

昨年の第10回職員研究交流集会は東京で開催され、約488名もの参加者が大いに学び、交流を深めました。2日目に行われた分科会では、各現場のテーマにあわせて23の分散会が開かれ、全国から138本もの実践報告が寄せられました。

日々生懸命、高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を積まれている全国の皆さん、日ごろの地道な実践を東京に持ち寄り、ともに学び、ともに育ちませんか?ぜひ、分科会一覧表(P6~8)をご参照のうえ、発表をご検討ください。

発表いただける方は、「演題募集エントリー」用紙(P10)に必要事項をご記入の上、8月31日(水)までに老福連事務局へFAXをお送りください。

● 研究・実践報告の原稿提出について

当日配布の資料集に掲載する原稿を下記のとおりご提出いただくようお願い申し上げます。

● 発表原稿様式

【原稿作成時】

- ソフトはWORDを使用(2007以降のソフトで作成した場合は「2003形式で保存」を選択すること)
- 用紙サイズA4/余白:上下・左右とも20ミリ/横書き/1行45字・1枚45行/(概ね2~4枚程度)
- 本文の文字:MS明朝/フォントサイズは10.5
- 原稿本文にはタイトルを明記:下記例示のようにオートシェイプをつかって□で囲む。<タイトルの文字>はMSゴシック/フォントサイズは、タイトル12、サブタイトルを付す場合はフォントサイズ9、その他は10.5

<タイトル> 例

タイトル○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (フォントサイズ12)
—サブタイトル○○○○○○○○○○○○○○○○— (フォントサイズ9)
都道府県名 所属の施設種別名 施設名
職名 氏名
(都道府県名以下 フォントサイズ10.5)

- 章立てをする場合には、章に1, 2, 3の数字、節に1), 2), 3)のように片)の数字、項に①②③の囲いのある数字を用い、本文との違いを明確にするため、文字はMSゴシックとする
- WORDファイル名:【[分科会No][県名][施設名][氏名]】 (例)A-2 山形_ずんだホーム_天童花子

【原稿送信時】

- 下記「原稿提出先」の宛先を参照し、EメールにWORDファイルを添付して送信してください。その際、件名にはWORDファイル名同様、【[分科会No][県名][施設名][氏名]】を明記してください
- 発表原稿に写真等を添付する場合、容量が大きいデータは別途記憶媒体に保存の上、郵送で送付ください

【その他】

- 発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づいてお願いします
- 発表にあたって、利用者等の個人情報の取り扱いについては、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願いいたします
- 研究交流集に参加できない方々とも実践交流を図る主旨で、研究・実践報告(発表)された内容を情報交流誌「ぼとぼら」の特集記事として取り上げることもございますのでご承知おください

● 発表時間

- 1演題につき10分~20分程度 (各分科会の演題数によって異なるためあくまで目安)

● 原稿提出締切

- 9月15日(木) 必着

● 原稿提出先

- EメールにてWORDファイルを添付の上、9月15日(木)までに下記へお送りください
メールアドレス 11bunkakai@gmail.com 白十字ホーム (担当:柿沼)

● お知らせ

- 例年、分科会での演題発表には、パワーポイントの使用を希望に応じて受付ておりましたが、今年は現地実行委員会での体制・準備等が整わない関係上、パワーポイントの使用(パソコン等機材の当日持込含む)については、まことに勝手ながらお断りをさせていただきます。事情を鑑みて、どうかご了承ください。

● 分科会 演題発表のエントリー用紙

● 発表エントリー

- 共同研究(発表)をおこなう場合は、代表者のみ一名を下記<発表者名>に記入の上、<発表内容>に共同研究と明記してください。共同研究者の氏名記載は、発表原稿本文へお願いいたします。なお、集会当日に共同研究者とともに参加・発表する際は、参加申込用紙の備考欄にその旨記載してください。
- 希望分科会を記載する際は、分散会番号も忘れずにご記入ください。(例:A-2・A-4やG-1・G-3など)
- エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合は、実行委員会で演題数の調整をおこないません。希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご了承ください。

施設名	施設住所	〒
施設種別	TEL	
	FAX	
発表者名	職種	
第() () 希望分科会 (分散会番号も忘れず)	演題	
発表内容 (簡潔に)		

● 提出期限

- 8月31日(水) 必着

● 提出先

- FAXにて本用紙を老福連事務局までお送りください(表紙不要)
FAX番号 075-494-1135

● 問い合わせ先

- 現地実行委員会事務局 特別養護老人ホームとかみ共生苑(担当:高梨)
TEL 023-646-5050 FAX 023-646-5051 E-mail tokami@themis.ocn.ne.jp

● アクセス

● 交通のご案内



天童温泉 天童ホテル

● 住所 〒994-0025 山形県天童市鎌田本町2-1-3
TEL 023-654-5511(代表)

● 車を利用する場合

東京 →(東北自動車道/約5時間)

● JRご利用の場合

秋田→天童 奥羽本線快速・山形新幹線 2時間40分

仙台→天童 仙山線・奥羽本線急行 1時間20分

仙山線(山寺駅下車タクシー15分⇒50分)

東京→天童 山形新幹線 2時間45分

新潟→天童 羽越本線・米坂線・奥羽本線 3時間40分

● 飛行機の場合(山形空港より車で10分)

名古屋～山形 65分

羽田～山形 60分

大阪～山形 75分

札幌～山形 70分

● 最寄り駅より

- 天童駅から天童ホテルへは徒歩で10分の距離です。
- 集会当日は天童ホテル入り口近くにて受付をおこなっております。
受付で資料をお受け取りいただき、手続きを済ませたあと、
各会場へのご案内をさせていただきます。



交流会でキズナを深めましょう 参加お待ちしております

集合! その①

☆ 地酒、名産品の送付先

〒990-2342

山形市富神前6

特別養護老人ホーム

とかみ共生苑

(担当: 高梨)

TEL 023-646-5050

☆ 当日持参の場合

天童ホテルの集会受付へ

全国津々浦々の地酒・銘菓・珍味・・・

なんでもウェルカム!!



今年の地酒はちょっとずつ多種類を味わいませよ〜!

ということで、今回は4合サイズの720ml 瓶を2〜3本…といった小分けでの募集をしたいと思います♪

※ 決して強制ではありませんので、各施設の状況にお任せします。

そして! 今回であなたも美食家になれるかも??? お腹を超満たす、

小腹を満たす**銘菓・珍味も贈答品並みに(笑)待って**おりませよ。

みんなのヒーローあつまれ〜!!!!

ヒーローは東北を救う…はず?! 今年もぜひ皆さんの**施設のヒーロー**

をご披露ください! 東北からも、あのヒーローが登場するかも??

あの時この時、その一瞬にかけて・・・!!

※ ちなみに右の写真は、福島県(白河市)のご当地ヒーロー‘**ダルライザー**’です。

集合! その②



集合! その③



心の叫びをとどろかせよう!!

歌は全国の人々の心と心をつなげます!!

気持ちを一つにして、ぜひ心ふるわせる歌声を参加者全員で共感し合ひましょう。



○ 交流会に関するお問い合わせは・・・

交流会担当 本柳 (おおつきホーム) まで

〒962-3939 福島県郡山市大槻町字西勝ノ木 5-1

特養おおつき内

TEL 024-962-3939

ず

ん

だ

も

ち

『開催地実行委員会

からのご挨拶』

21・老福連の会員施設ならびに全国の皆様からの東日本大震災へのご支援に、心より御礼申し上げます。大震災・大津波、そして原発事故の三大災害に打ちひしがれている時、いち早く届いた21・老福連からの物的支援に、どんなに励まされたことか。また宮城野の里で開いた、家が流されたり浸水し居住できなくなった高齢者の皆様の「福祉避難所」も、皆様の人的支援がなければ続けることはできませんでした。まずは、言葉では言い尽くせぬ感謝の気持ちをお伝えしたいです。ありがとうございます。

実は正直なところをお話すれば、3月11日からの数日は、第11回職員研究交流集会は中止するしかないと考えていました。

しかし続々と届いた会員施設からの物的・人的支援に応えるためにも、この間の報告をしなければねらないと考えました。



宮城野の里
小野ともみ 実行委員長



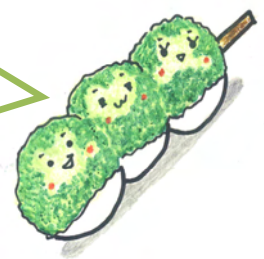
また、この大災害を教訓に

災害時の高齢者福祉施設がどうあるべきか、災害時だからこそ社会保障・社会福祉に求められるものは大きく、これをまとめ是非全国の皆様と話し合いたいと思うようになったのです。「生命の尊厳、人間としての幸せを今こそ」——この実現のために、少しでも前にすすむことができるようにすることが、被災地の施設の役割だろうと思に至りました。ただ仙台は、いまだ第11回職員研究交流集会の全体会場に予定した「萩ホール」等は、無期限の貸し出し不能になっていたり、現時点で仙台での準備ができかねる状況が続いています。とかみ共生苑から、山形での開催をとの話をいただき、急遽仙台開催ではなく山形開催にさせていただきました。



倉り干り号

- ① 委員長挨拶
- ② 会場について
- ③ I love 老福連
- ④ おまけ♪



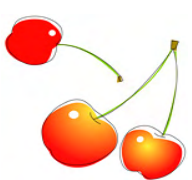
21・老福連

第11回職員研究交流集会実行委員会

広報担当 発行

介護保険法改正案が国会に上程されました。高齢者にとって使いやすい介護保険となるのか、介護を仕事としている私たちにとって報われる法改正になるのか、見つめ続け、言うべきことは言わねばなりません。大震災から3ヶ月経過した被災地は、ようやく復興の緒についたころです。身内を亡くされ、家を失い、あるいは仕事を失った数万人の生命や生活の重みをしっかり受け止め、今後に活かしていくことが、私たち福祉に携わる者の使命だと思っております。第11回職員研究交流集会は、その思いを共有し語り合う場になりたいと考えます。

全国の皆様の参加を、心からお待ち申しあげます。



ホテル外観



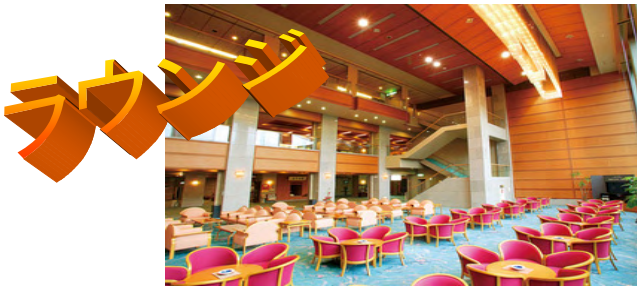
(会場案内は、「アクセス」の項をご覧ください。)

2日間という熱き時間と、皆さんの熱い思いがぶつかりあひ、皆で盛り上がりつつあります。皆で盛り上がりつつあります。

今回は、当初開催を予定していた宮城県仙台市から、お隣の山形県天童市へ会場を移し、天童温泉「天童ホテル」を舞台に全体会・分科会を行います。さらに今回は交流会も同会場で行います。例年同様、各地の地酒を持ちより、飲んで歌っていっぱい語り合しましょう！

第11回職員研究交流集会の会場見学を実施しました。

『山形へ来てけらっしやい！』



I love you baby 宮城・・・
I need you baby 山形・・・
I want you baby 東北・・・
東北が好き・・・♪
I love you baby 宮城・・・
I need you baby 山形・・・
東北が好き・・・♪

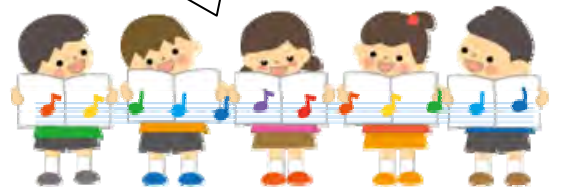
(‘猪苗代湖ズ’が歌う詩にのせて…)

『老福連の絆』

さて、実行委員会も回を重ね、徐々に日程表が整い始めました。

今回は苦渋の決断で2日間の開催という形をとらせていただきました。全体会では、東日本大震災の状況やその取り組みについて、全国の会員の皆様からの支援に感謝の思いを込めて報告するとともに、『平穩死のすすめ』の著者である石飛幸三先生の講演によって、今回のテーマでもある「生命の尊厳」について一緒に深めていきたいと思います。

また、最終日には、関西の若い人たちがオプショナル企画をたてて下さっています。それに並行した企画で、宮城の被災地に入り、粘り強く我慢も強い「東北」の大震災からの復興をそ



の目に焼き付けていたのだと思います。というわけで、東日本大震災に向けての応援ソングが全国で流れている中から、福島県ゆかりのアーティストが集結してできた「猪苗代湖ズ」がふるさとへの思いを素直に表現している歌に私たちも思いをのせて、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

おまけのコーナー

『ずんだもち』のヒミツ



第11回職員研究交流集会のニュース名を、開催地である宮城県の名産品にちなんで、茹で枝豆を潰して砂糖を混ぜたずんだを餅にまぶした郷土菓子「ずんだもち」に決定しました。しかし会場が変更となり、題名も変更せざるを得ないかと検討した結果、ずんだもちには南東北(宮城県・山形県・福島県)を中心にした地域郷土菓子であることから、題名は変えずに発行することができました。

このイメージキャラクター

には、まだ名前がありません。誰か名づけ親になって下さい！



どうぞよろしく！

21・老福連 第11回職員研究交流集会 in 山形 ～参加・宿泊等のご案内～

【1】お申込方法のご案内

- ① 参加者は、申込書に必要事項を記入の上、9月5日(月)までに山新観光へFAXまたは郵送にてお申込下さい。

お申込締切日 : 2011年 9月5日(月)

- ② お申込受付後、10月上旬頃より山新観光より、参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書・振込依頼書をお送りさせていただきます。
- ③ 費用振込みについて
郵送致しました請求書をご確認の上、11月4日(金)までに指定の振込口座へお振込をお願い致します。

【2】21・老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

ご参加期間	1日間	2日間	3日間(OP企画込)
金額	¥5,000	¥8,000	¥10,000

【3】宿泊・交通・交流会のご案内

《ご宿泊》 宿泊ホテルは、以下の通りご用意しております。

ご利用日	ホテル名	和室	内容
11/12	天童ホテル	¥17,000	1泊2食付、交流会費込、税サ込
11/13	天童ホテル	¥14,500	1泊2食付、税サ込

★同室希望者の方がいらっしゃる場合は、参加申込書該当欄にご記入をお願い致します。

★その他、特段の事情がない限り、部屋割りについてはご一任ください。

《交流会》 会場は、天童ホテル内になります

天童ホテルに宿泊する方 : 11/12の宿泊費用に含まれます

天童ホテルに宿泊せず交流会のみ参加の方 : 10,000円

【4】昼食弁当のご案内

分科会会場にて希望者にお弁当をご手配致します。ご希望の方は、申込書にご記入下さい。

11/13(日) 昼食 (お弁当) 1,000円

【5】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となりますので、ご注意ください。変更・取消の場合は必ずFAX又は郵送でご連絡下さい。

また、変更・取消後の返金については、本会終了後速やかに行ないますので予めご了承下さい。

取消日	集会参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
集会申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	10%	無料	無料
7日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	無料
旅行開始日の前日の解除	100%	50%	50%	50%
旅行開始日の当日の解除	100%	100%	100%	100%
旅行開始後の解除 又は 無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

★お申込み後の変更・取消は、必ずFAX又は郵送でお願いします。

★上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に精算致します。

★変更・取消などによるご精算は、大会終了後に指定の口座へお振込致します。

(事務手続き上、多少お時間を頂戴しますので、予めご了承下さい)

★大会当日のご返金は致しませんので、ご了承下さい。

【6】申込・お問い合わせ先

山新観光株式会社 空港営業所 担当:柴山・平向【営業時間:月～金曜日 10:00～17:00、土・日・祝日休み】

〒999-3776 東根市大字羽入 山形空港ビル内

TEL:0237-47-2004

FAX:0237-47-2170

21・老福連 第11回職員研究交流集会参加申込書・費用内訳書

申込日 月 日 時 ~ 時 所属施設名 () TEL () - () - ()
 連絡可能時間帯 担当者氏名 () FAX () - () - ()
 施設所在地 〒

フリガナ 氏名	性別	職種・役職	参加費			オプション 企画		分科会 (下記注釈参照)			宿泊(1泊2食・12日 は交流会費込)		交流会 のみ	昼食		合計金額	名簿への 氏名記載の 可否
			12日 (土)	13日 (日)	14日 (月)	11/14 AorB 選択	第1 希望	第2 希望	役割	11/12 ¥17,000	11/13 ¥14,500	11/12 ¥10,000		11/13 ¥1,000			
ヤマガタ イチロウ (例) 山形 一郎	男・女	施設長	○	○	○	A					○	○	×	○	○	¥42,500	可・否
ズンダ ハナコ (例) 寸田 花子	男・女	相談員	×	○	×		G-3	G-4			○	×	×	○		¥23,000	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否
																	可・否

◆お申込方法

- * 上記申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにて右記申込み先へお送り下さい。
- * 分科会の座長・記録・助言者・発表者の方は、希望分科会の「役割」欄にご記入下さい。
- * 手話通訳が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願い致します。

◆集会参加について

- * 1日間参加：5,000円/2日間参加：8,000円/3日間参加：10,000円

◆ホテル・交流会の料金表について

- * 12日：1泊2食付・交流会費用込・税サ込 17,000円
- * 13日：1泊2食付・税サ込 14,500円

◆オプショナル企画について

- * Aコース：現場職員向け企画(定員なし)⇒天童ホテルにて
- * Bコース：管理者向け企画(先着25名)⇒被災地へ

◎頂きました個人情報、この集会の目的以外に使用しません。

◎当日配布の資料集に参加者一覧を掲載します。名簿への氏名掲載の可否を上記欄に○をお付け下さい。(記入漏れの場合は、可能と判断させていただきます)

※ 備考欄：相部屋のため、禁煙等特段の希望がある場合のみご記入ください。
(ご希望に添えない場合もあらかじめご承知おきください)

<申込先> 山新観光株式会社 空港営業所 担当: 柴山・平向
 〒999-3776 東根市大字羽入 山形空港ビル内
 TEL: 0237-47-2004 FAX: 0237-47-2170
 【営業時間】月～金曜日 10:00～17:00 土・日祝日は休み
 (確認印)